

巻 頭 言 腎臓病学の進歩

佐井(崔)吉永

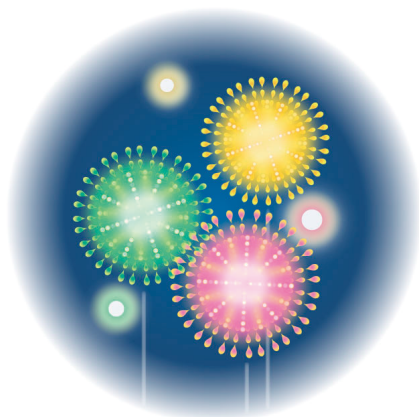
((医)寿楽会 ハーバータウンクリニック 院長)

昨年12月にJR難波駅横のホテルモントレーのビル内に透析クリニックを開業させていただきました。その後半年以上がたち慌ただしい時期もすぎまして、ようやくスタッフ共々落ち着いてまいりました。今後とも浪速区医師会の一員としてよろしくお願い申し上げます。

さて、平成4年に大阪市立大学を卒業後、現在に至るまで主に腎臓内科を専門に勉強してきましたが、腎臓病学に関してもエビデンスに基づいたガイドラインが次々と作成、改訂されています。特に重要な概念として、平成14年に米国より慢性腎臓病(CKD)の概念が提唱されており、腎不全だけでなく蛋白尿(微量アルブミン尿)単独でも、心血管病変の割合の増加や予後の悪化が認められています。日本腎臓学会でもCKDガイドラインの作成が行われ、CKDが提唱されて10年目になる本年に改訂版が出されております。当初のガイドラインではGFR値によりステージ分類されていましたが、今回から蛋白尿の程度を加えたリスク分類がなされております。また、かかりつけ医から専門医への紹介においても、これまでGFRに関しては50ml/分/1.73m²未満であったのが、年齢による分類が加わっています。さらに、これまでのエビデンス

の積み重ねから、血压管理に関しては過剰降圧による心血管死亡の増加が指摘されていることもあり、これまでは尿蛋白1g/日以上以上の患者の血压管理目標値が125/75Hg未満であったのが、エビデンスがでなかったため今回の改訂では削除されています。降圧薬の選択に関しても、非糖尿病症例で尿蛋白正常の患者に対しては、RAS阻害薬以外の降圧剤も第一選択となりました。

慢性腎臓病以外でも病態・治療に関して解明されてきており、急性腎不全に関しては、近年、急性腎障害(acute kidney injury: AKI)の概念が重要視されています。AKIも従来の急性腎不全とともに「急激な腎障害を起す病態」にはわかりありませんが、急性腎不全では「急激な腎機能の低下」であるのに対して、AKIでは「腎機能低下の発生が予想されるような強い障害が腎臓に加わった病態」が念頭に置かれ、わずかな腎機能低下が生命予後に影響することや、そのため早期からの介入が予後改善に必要であることから、その定義として急激(48時間位以内)な腎機能の低下(Cre値が0.3/dL以上上昇もしくはCre値が



1.5倍以上に上昇)だけでなく、尿量が0.5mL/kg/時以下が6時間以上持続している状態でもAKIと診断でき、尿量低下がみられればすぐにその対策を立てることが重要と考えられています。

その他、今年に入り腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドラインが出され、ループ利尿剤やNSAIDsは検査前後では使用を控えることが推奨されたり、造影剤使用後の透析療法に造影剤性腎症や腎不全悪化の予防するエビデンスがないことが指摘されています。また治療以外にも、ネフローゼ症候群のひとつである特発性膜性腎症の特異抗原(M型ホスホリパーゼA2受容体など)の研究がなされ解明が進むなど、ここでは書き尽くせませんが腎臓病学は着実に進歩しています。

もちろん、私が現在診療している透析分野でも、腎性貧血の管理をはじめさまざまなガイドラインができており、これからもさらに進歩していくことと思います。今後も、この進歩を踏まえ臨床医として頑張っていきたいと思います。



理事会報告



◎平成24年度 7月第1回定例理事会

日 時 平成24年7月13日(金)

午後2時～3時

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 60周年記念行事検討委員会の設置について
＜佐久間会長＞

平成25年度は、本会設立60周年にあたるので委員会を設置したい。

また、本委員会の委員は、会長、副会長、庶務、会計、竹中監事としたい。

協議の結果、了承。

第1回の委員会を、7月27日(金)午後2時から開催することに決定。

2. 介護予防教室の開催(7月31日(火))について
＜橋村理事＞

日本橋地域在宅サービスステーションと社会福祉法人石井記念愛染園の共催で標記教室が開催される。詳細は次のとおり。

日時 7月31日(火)午後1時

場所 新世界老人憩いの家

講師 竹中裕昭先生

この案内チラシを各医療機関に配付願いたい。

協議の結果、了承。

3. 本会夏期休館日について ＜徳田理事＞
夏期休館日を府医同様、8月13日(月)～16日(木)までとしたい。

協議の結果、了承。

4. 本会ホームページに関するアンケート実施について <金田理事>
資料のとおり、アンケートを実施したい。

協議の結果、了承。
病院の勤務医にも広く協力を求めることとなった。

5. その他
なし。

3. 第296回府医臨時代議員会について
(7月5日<木>) <澤井副会長>
議事は次のとおり。

▷ 議事

第1号議案 公益法人制度改革に対応した大阪府医師会定款の変更に關し承認を求める件

上記の議案は原案どおり可決決定した。
(詳細 略)

報告事項

1. 西成区の生活保護受給者の「通院医療機関等確認制度」の説明会について
(6月28日<木>) <佐久間会長>
西成区役所保険福祉課より標記制度について説明があった。
参加者は、会員24名、医療従事者39名の計63名であった。

2. 大阪市医師会連合会委員会について
(7月9日<月>) <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷ 報告事項

- (1) 大阪市麻しん対策会議(6月29日)報告の件
(2) 平成24年度第1回大阪市小児慢性特定疾患対策会議(6月13日)報告の件
(3) 平成24年度第1回大阪市地域包括支援センター運営協議会(6月15日)報告の件
(4) 大阪市内立市民病院経営検討委員会(6月13日)報告の件

▷ 連絡事項

- (1) 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(平成24年度～26年度)配布依頼の件

▷ 協議事項

- (1) 大阪市幹部との懇談ならびに平成25年度大阪市予算の編成に対する要望の件
(2) その他

(詳細 略)

4. 第33回病診連携委員会について
(6月25日<月>) <金田理事>
次第は次のとおり。

▷ 第32回病診連携委員会報告について

▷ ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について

▷ 病診連携委員会のアンケート結果について

▷ 大阪市消防局からの実績報告について

▷ 大阪警察病院の連携参加について

▷ その他

(詳細 略)

5. 第1回大阪中央地域産業保健センター運営協議会について

(6月28日<木>) <金田理事>
次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 委員長挨拶

▷ 報告事項

(1) 平成24年度 第1回大阪府地域産業保健事業運営協議会

(2) 平成24年度 大阪府医師会産業医部会委員会

(3) 平成24年度 第1回産業医部会常任委員会

▷ 協議事項

▷ 連絡事項

▷ その他

▷ 閉会

(詳細 略)

6. 大阪警察病院地域医療支援病院運営委員会について

(7月12日(木)) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷ 開会のご挨拶

▷ 議題

(1) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

(2) 地域医療連携センター利用状況

(3) 紹介元・逆紹介先医療機関リスト

(4) その他

▷ 閉会のご挨拶

(詳細 略)

内容 「いきいきと元気に過ごすために！
～介護予防は病気の予防から～」

対象 区内にお住まいの健康づくりに関心のある方 約30名

協議の結果、公募することとなった。

3. 「ナニワ区民まつり」(9月9日(日))への医師派遣依頼について <佐久間会長>

例年のとおり、緊急時に備え医師、看護師各1名の医師の依頼があった。

時間は午前11時～午後4時まで、開催場所は「浪速公園」である。

協議の結果、内科、外科、整形外科を標榜する会員を対象に公募することに決定。

4. 新型医療連携学会の開催(10月20日(土))について <久保田理事>

資料の内容で学会を開催したい。

協議の結果、プログラム、予算について再度検討することとなった。

5. 今年度レクリエーションの日程について(再) <岡藤理事>

先の理事会(6月22日)にて、日程を10月27日(土)と決定したが、この日は、学術講演会と重なるため、変更したい。

協議の結果、10月21日(日)に決定。

6. その他

(1) 日本医師会最高優功賞受賞記念大阪府医師会会長賞の被表彰候補団体推薦について <佐久間会長>

例年のとおり、府医会長より推薦依頼があった。

協議の結果、「推薦者なし」と決定。

(2) 60周年記念行事の開催日程について

7. その他

なし。



◎平成24年度7月第2回定例理事会

日時 平成24年7月27日(金)

午後8時～9時50分

場所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. ワーキング・グループ構成員とパイロットスタディ検診実施校の推薦について

今年度については、府医あてに大阪市教育委員会より大阪市市政改革の一環として本事業見直しの申し入れがあり、新たな事業展開に向けて協議を重ねているとのことである。

本会は、すでに今年度の学校と校医については決定しているが、府医からの連絡を待つこととなった。

2. 保健福祉センターの行う「すこやかリーダー育成講座」(9月7日(金))への講師派遣依頼について <佐久間会長>

標記のとおり、講師の派遣依頼があった。詳細は次のとおり。

日時 9月7日(金)午後2時～3時30分

場所 浪速区役所 7階

開催日を、平成25年11月下旬開催か平成26年1月の新年互礼会と同時開催とするか検討願いたい。

協議の結果、新年互礼会(平成26年1月18日)の同時開催に決定。

- (3)60周年記念行事検討委員会の開催について
標記委員会を開催したい。

協議の結果、8月25日(土)午後4時30分、移動理事会前に開催することとなった。

- (4)60周年記念式典実行委員について
委員会は、月1回程度開催したい。
また、標記委員に、川田理事、久保田理事にも就任頂きたい。

協議の結果、了承。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会(納涼)について
(7月19日(木)) <佐久間会長>
次第は次のとおり。
▷開会
▷会長挨拶
▷連絡事項
(1)「日本医師会最高優功賞受賞記念大阪府医師会長賞」被表彰団体推薦依頼の件
(2)8月度行事・会合日程の件
(3)その他
▷閉会
(詳細 略)

2. 浪速区公衆衛生協会総会・懇親会について
(7月18日(水)) <佐久間会長>
ホテルモントレグラスミア大阪にて開催された。
次第は次のとおり。
▷第一号議案
(1)平成23年度 事業報告

- (2)平成23年度 収支決算報告
(3)平成23年度 会計監査報告
▷第二号議案
(1)浪速区公衆衛生協会の解散について
(詳細 略)

3. 60周年記念行事検討委員会について
(7月27日(金)) <佐久間会長>
次第は次のとおり。
▷60周年記念行事に係る各委員について
(1)記念式典実行委員
有田副会長(長)・徳田理事(副)・岡藤理事(副)
(2)記念誌編集委員
澤井副会長(長)・中村理事(副)・橋村理事(副)・竹中監事・桧山監事
(3)会計担当
菱川副会長・木田理事
▷開催日程
▷その他
(詳細 略)

4. 大阪市内医師会救急医療担当理事連絡協議会について
(7月17日(火)) <原田理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷挨拶
▷議事
(1)平成23年度大阪市急病診療実績等について
(2)平成24年度下半期分中央急病診療所出務医師割当(案)について
(3)その他
▷閉会
(詳細 略)

5. 郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会について
(7月17日(火)) <原田理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷挨拶

▷ 出席者紹介

▷ 議事

(1)平成23年度 大阪府医師会「救急・災害医療対策」事業報告について

(2)平成24年度 「救急の日」・「救急医療週間」行事実施要綱について

(3)平成24年度救急医療従事者研修会の開催計画について

▷ その他

▷ 閉会

(詳細 略)

6. 大阪市中央エリア認知症支援関係者連絡会について

(6月19日〈木〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷ 開会のあいさつ

▷ 大阪市の認知症高齢者支援の取組みについて

▷ 認知症対策連携強化事業について(報告)

▷ 南エリア認知症疾患医療センターより～認知症診断連携と診療報酬について～

▷ ブルーカードシステムについて

～円滑な地域医療システムとその活用例～

▷ 意見交換

～医療連携・医療と介護の連携について～

▷ 最後のあいさつ

(詳細 略)

7. 第2回定期地域ケア会議について

(7月25日〈水〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷ 定期地域ケア会議追加参加者の紹介

▷ 随時地域ケア会議報告

▷ 事例検討

(詳細 略)

8. 平成24年度第1回認知症講演会実行委員会について

(7月25日〈水〉) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷ 浪速区医師会より

▷ 実行委員会委員自己紹介

▷ 検討事項

▷ 今後の予定について

(詳細 略)

9. 浪速区要保護児童対策地域協議会代表者会議について

(6月28日〈木〉) <川田理事>

次第は次のとおり。

▷ 部会長あいさつ

▷ 部会員紹介、事務局紹介

▷ 平成23年度活動報告

▷ 平成24年度活動計画(案)

▷ こども相談センターより情報提供

▷ 地域支援調整チームからの要望に対する回答について

▷ その他

(詳細 略)

10. 府医第1回医療情報委員会について

(7月26日〈木〉) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷ 開会

▷ 会長挨拶

▷ 自己紹介

▷ 正・副委員長の選出について

▷ 諮問事項について

▷ 報告事項

▷ 協議事項

▷ 次回日程(案)

▷ 閉会

(詳細 略)

11. 学術講演会について

(6月23日〈土〉) <富永理事>

講演内容は次のとおり。

演題 「持続血糖モニター(CGM)によるDPP4－阻害剤の有効性の評価」

講師 大阪市立大学 大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学

講師 森 克仁 先生

出席者数 23名

共催 ノバルティスファーマ株式会社

情報提供 ノバルティスファーマ株式会社

最新製品情報

(詳細 略)

12. 医療問題研究委員会について

(7月11日(水)) <富永理事>

次の講演に沿って意見交換を行なった。

講演 我が国の医療制度の歩み

—皆保険実現から社会保障と税の
一体改革まで—

講師 大阪府医師会長 伯井 俊明

(詳細 略)

13. 学術講演会について

(7月21日(土)) <富永理事>

講演内容は次のとおり。

演題 「運動負荷心電図の読み方

—ST-T部分とU波の変化の臨床
的意義—」

講師 国立循環器病研究センター

循環動態制御部

室長 高木 洋 先生

出席者数 17名

共催 大塚製薬株式会社

情報提供 抗血小板剤の最近の話題

(詳細 略)

14. その他

なし。

次回会議 平成24年8月25日(土)午後5時～

7月度 学術講演会報告

学術担当理事 富永 良子

日 時 7月21日(土) 午後2時

演 題 「運動負荷心電図の読み方—ST-T
部分とU波の変化の臨床的意義—」

講 師 国立循環器病センター

循環動態制御部

室長 高木 洋 先生

出席者数 17名

共 催 大塚製薬株式会社

情報提供 抗血小板剤の最近の話題

担 当 富永良子

前回の復習

生理機能検査の運動負荷心電図には

1、トレッドミルを使用したもの

2、エルゴメーターを使用し呼気ガス分析を
併用したものの主に2つがある。

トレッドミルを使用したものを行うのは不整
脈診断や虚血を判定するのが目的である。

呼気ガス分析を行うのは、心不全最重症例と
心臓移植の適応を調べるときである。

マスター負荷(2階段)試験は日常生活に不
自由なく生活できる人へのスクリーニング的
なもの、もしくはイベントを起こした人のフ
ォローアップで行う。

3 DCTが最近普及しているが、画像診断と
心電図所見が合致しないこともあり、現在も
運動負荷心電図の件数は減っていない。

ST低下と狭心痛が大切である。

運動負荷心電図におけるST変化

ST低下のメカニズム：心内膜下梗塞にな
ると心内膜側に傷害電流が発生し、虚血側か
ら正常側へ流れると基線が上がる。傷害電流
によって拡張期にST以外は上がるが、心電
計が自動的にそれを補正するので、見かけ上
STが下がったようにみえる。

ST上昇のメカニズム：全層性(慣壁性)に虚

血が起きて、その部位で心電図をとると、傷害電流は逃げていく方に向かうので、拡張期にSTが下がり、心電計がそれを補正し、見かけ上、STが上昇する。

ST上昇とは

基線より1mm上昇するとST上昇という。

ST上昇は、重症といえる慣壁性虚血か、日本人に多い冠動脈スパズムで見られる。異常Q波があれば壁運動の異常でST上昇する(1/3以上で見られる)。

運動負荷試験時にはST下降にだけ注目しがちであるが、ST上昇がないかどうか確認する注意が必要である。

異常Q波のない誘導でST上昇が観察される時は、心筋虚血部を反映している。実際の検査では、1000~1500人に4~5人の割合で認められるが、そのまま心筋梗塞に移行したり、緊急冠動脈造影になることはなかった。

ST上昇の程度が強いのは、冠動脈に有意狭窄が無い方である。有意狭窄がある冠動脈は石灰化があって、むしろ完全閉塞がしにくいのではないかと等言われているが理由は不明である。

日本では、全狭心痛例(17施設)の冠動脈スパズムの割合は平均40%と多い。よって、発生意因として冠動脈スパズムは大切である。

運動誘発性ST上昇の意義のまとめ

- ・ST上昇出現誘導に異常Q波があるかどうかで異なる。
- ・異常Q波誘導にST上昇をともなっている場合は、壁運動の異常を反映。心筋虚血は考えにくい。
- ・非異常Q波誘導にST上昇をともなっている場合は、貫壁性梗塞もしくは冠動脈スパズムを考える。稀で(1%未満)はあるが、最大6分以内にSTは元に戻っている。欧米では、冠動脈の高度狭窄を示すが、日本では40%に有意狭窄はなく、カルシウム拮抗薬やシグマートでコント

ロール可能である。

運動誘発性のU波とは

U波はT波の後の陽性波として記録され、その成因は未だ不明の点が多いが、運動負荷時に心筋虚血に伴ってU波の陰転化が見られることがある。V₂₋₃₋₄でしばしばみられる。運動負荷試験時や異型狭心症の発作時にみられた場合には、前下行枝の高度狭窄や冠動脈スパズムが考えられ、診断確定に有用な所見である。

後下壁の虚血では、右胸部誘導で陽性U波の増高がみられることがあり、後下壁の虚血による陰性U波の鏡像的变化ではないかと考えられている。

U波の意義のまとめ

- ・陰性U波はV₂₋₆の前壁梗塞で認め、LADの狭窄である。
- ・U波の増高は後下壁の虚血で、右冠動脈や回旋枝の狭窄が考えられる。
- ・U波の出現は部位診断が可能である。

運動後のU波の変化

陰性U波があるかどうかは、負荷回復早期の心拍数が減少したタイミングで心電図を記録し、チェックする必要がある。



9月度学術講演会のお知らせ

9月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：9月15日〈土〉午後2時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「T波の総論」

講師：千里中央病院 緩和ケア科

相原 直彦 先生

浪速区認知症ミーティングのご案内

日時 9月29日〈土〉14：30～16：30

場所 浪速区医師会館 2階 会議室

主催 大塚製薬株式会社

座長 医)寿会 富永病院 脳神経外科

富永 良子 先生

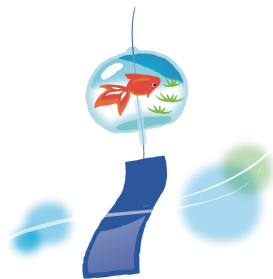
演題 『神経内科のcommon disease:

頭痛、てんかんのトピックスと

病診連携』

演者 医)寿会 富永病院 副院長

神経内科部長 竹島 多賀夫 先生



浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年9月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三歳児健診

●保健福祉センター

9月27日〈木〉午後1時40分～3時30分

眼科 吉野 成泰

耳鼻科 前田 英雄

BCG接種

●保健福祉センター

9月20日〈木〉午後2時～3時30分

工藤俊次郎・本田 秀明

急病診療所出務

●中央急病診療所

9月19日〈水〉深夜22：00～30：00

菱川 秀夫

●今里急病診療所

9月2日〈日〉10：00～17：00

山田 都子・川田 信哉

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会 午後2時～4時

9月4日〈火〉 金田 高次

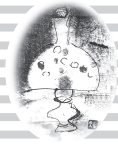
9月21日〈金〉 北村 栄作

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。（ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。）

囲碁部 毎月第1・3・5（土）

（川田信） pm5：00～



あとがき

S.K.

こむら返り

こむら返りとは運動時や睡眠中に足のふくらはぎ(こむら)が強い痛みとともに痙攣(けいれん)することである。原因はさまざまであるが、汗をかく夏場は水分不足などで起きやすい。日ごろ運動不足の人が準備運動なしに急に運動した時や脱水状態、熱中症の際にも見られる。筋肉にかかわるナトリウム、カリウムなどの電解質バランスの崩れも原因になりやすい。足が冷えた時や、夏には冷房で起こることもある。また妊娠中(特に妊娠後期)にもおこり易い。

しかしこむら返りが頻繁におこり長時間続くときは、病気が原因のことがあり、その場合には診察を受ける必要がある。腰部脊柱管狭窄症、糖尿病、甲状腺疾患、腎疾患(特に人工透析中)、電解質異常、下肢静脈瘤、脳卒中後遺症、神経筋疾患(末梢神経疾患)、アルコール依存症、全胃摘出者、肝硬変、不安定狭心症などである。また薬物の副作用で起こる場合もある。

こむら返りが起こったときの対処方の一つは、つま先を手前に引き、ふくらはぎの筋肉を伸ばす。この際ひざは曲げないようにする。自分でできない時は周りの人に手伝ってもらう。予防策としては、入浴して血行をよくし、寝る前につま先を手前に引いてストレッチしたり、ふくらはぎをマッサージしたりすると良い。

夏は水分やナトリウム、カリウムなどを失うことが多いので、カリウムの補給には緑黄色野菜やバナナなどの果物を多めに摂るのが良い。運動前後のストレッチ、運動中の水分補給が大切である。前日にお酒を飲みすぎて脱水状態にならないように注意する。こむら返りは運動不足や偏った食事など生活の乱れ

のサインかも知れない。

治療薬には筋弛緩剤として、テルネリン、ミオナール、抗不安剤としてセルシンなどが用いられる。他に抗ケイレン薬、マグネシウム製剤、ビタミンE製剤、クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム配合剤(主にナトリウム、カリウムの補充による効果が考えられる)、アルドース還元酵素阻害薬などの報告がある。

治療に漢方薬を使うケースもある。代表的なものは芍薬甘草湯で、服用すると通常は2～3分で、早い人は1分以内で治まる。この薬は妊娠中でも使え、ほとんどの人は問題なく服用できる。ただし飲み続けると、時に足のむくみ、血圧上昇などが起きる場合があるので注意が必要である。他に八味地黄丸は高齢者のこむら返りに適しているとされている。



目次

巻頭言

腎臓病学の進歩	佐井(崔) 吉永	1
理事会報告(7月開催)		2
7月学術講演会報告	富永 良子	7
9月学術講演会のお知らせ		9
浪速区医師会活動の伝言板		9
あとがき		10

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ